

乾燥に対する果樹の当面の管理について

平成31年1月15日
農業技術課

平成31年1月14日16時35分の気象庁予報部発表の関東甲信地方の向こう一週間の予報では「期間の始めは、前線や気圧の谷の影響で雨や雪の降るところがあるでしょう。その後は高気圧に覆われて晴れる日が多い見込みです。」となっています。

甲府では、昨年12月17日に3ミ、1月12日に0.5ミの降雨を記録したのにとどまり、乾燥した状態が続いていますので、乾燥対策を講じて下さい。

1月15日5時 山梨県の週間天気予報

日付	15 火	16 水	17 木	18 金	19 土	20 日	21 月	
山梨県 府県天気予報へ	晴のち曇 	晴 	曇時々晴 	晴時々曇 	晴時々曇 	曇時々晴 	晴時々曇 	
降水確率(%)	-/20/20/30	10/0/0/0	10	10	10	30	20	
信頼度	/	/	A	A	A	B	B	
甲府	最高(°C)	9	11	10 (8~13)	10 (8~13)	10 (8~13)	11 (9~14)	12 (9~15)
	最低(°C)	/	0	-1 (-4~1)	-2 (-4~0)	-2 (-4~0)	-1 (-5~1)	1 (-2~4)
平年値	降水量の合計		最高最低気温					
甲府	平年並 1 - 9mm		最低気温		最高気温			
			-2.2 °C		8.5 °C			

< 果樹の乾燥対策 >

乾燥している園で、かん水ができる場合は、昼間の暖かい時間にかん水を行う。また、かん水した水がほ場外へ流失しないよう注意する（路面凍結による交通事故防止）。

(1) ブドウ

- ・若木などで防寒対策を実施していない園では、主幹から主枝分岐部へのワラ巻きや樹体の根本の周囲2mへの敷きワラを行い、土壌乾燥を防止する。
- ・結果母枝の登熟不良樹や欧州系品種では、厳寒期を過ぎてから剪定を行う。
- ・太枝や側枝を剪除する場合は、結果母枝の登熟具合を確認してから行う。
- ・結果母枝の登熟不良樹の剪定は、できるだけ枝数を多くおき、芽数の確保を図る。
- ・枯込み防止のため、大きな切り口には必ずゆ合剤を塗布する。

(2) モモ、スモモ

- ・若木や秋植えした苗木では、敷ワラなどにより乾燥防止対策を徹底する。
- ・枯死症対策として、冬季の強剪定を避ける。特に、若木の太枝剪除は樹液流動後に行う。
- ・早期落葉などにより枝の充実が悪い園では、厳寒期を過ぎてから剪定を行う。
- ・枯込み防止のため、大きな切り口には必ずゆ合剤を塗布する。

(3) カキ・リンゴ

- ・枝の充実や花芽の状態を確認し、樹勢が弱く枯れ込みが多い樹は、葉芽の動きを確認してから剪定を行う。